

びふか 議会です

こんにちは。

2021年11月
北海道／美深町議会



コロナになんか負けないぞ

第3回
定例会

予算の補正・条例制定 …… 2～3ページ

決算審査
特別委員会

令和2年度 予算の使われ方は …… 4～8ページ

一般質問

ここが聞きたい 3議員 …… 10～13ページ

委員会報告

墓地・霊園の状況は 総務住民 産業教育 常任委員会 14～15ページ
川西・玉川地域の水道整備他

私からの
メッセージ

これからも美深で 渡部 徹 …… 16ページ
心と身体に彩りを 塩田かすみ

第119号

美深町議会

検索

ホームページから
議会の動きをご覧
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

第3回定例会

初日には行政報告、3議員の一般質問が行われました。
協議、令和2年度決算審査が行われ、最終日には一般会計など
改正1件など全16件が審議され、全議案を可決。

行政報告



■夏の高温少雨で畑作全般に減収が見込まれる状況にある。
■恩根内放牧場では水源が枯れる事態が発生したため、予定より2ヶ月早く8月21日に退牧となり、一部を吉野にあるJA預託牧場に収容することとなった。
■コロナワクチン接種の状況は、9月1日現在、市民の対象者3784人のうち67%にあたる2537人が2回の接種を終え、11月5日には希望者への接種が完了する見込である。

チヨウザメ水源確保に 屋外水槽導水管建設へ設計業務委託

一般会計 補正予算

追加補正額は、総務費2234万円、民生費574万円、商工費4680万円など1億2920万円。

コロナ対策では介護施設等に家族面会設置の補助が盛り込まれました。

主な質疑

山村留学の負担金

問

仁宇布小中学校 山村留学制度の増額は、3月の予算委員会教育委員会が示した答弁を元に補正されたものか。

答

当初の見込みより件数が増えたことによる追加補正で、エアコンの申請はなかった。今後は柔軟な対応も考えたい。

答

予算編成時以降も協議会と協議を進め、新たに面接対応費や宣伝費を加え、令和2年度の決算の状況や山村留學生の人数の確定等により補正したものの。

エアコンの整備

問

快適な住まいづくりと商工業振興事業補助金のリフォームのメニューにエアコン等の整備は対象になるのか。補助の対象を検討しては。

快適な住まいづくりと商工業振興事業補助金のリフォームのメニューにエアコン等の整備は対象になるのか。補助の対象を検討しては。

屋外水槽へ導水管

問

チヨウザメの屋外水槽導水管新設工事は、発電所の修繕工事によって取水できなくなるための措置だが、その間の一時的なものか、恒久的にその水を利用できることになるのか。

答

発電所の工事は3年あまりになる。また、毎年数回の発電所のメンテナンス時や災害など非常時にも対応できるよう整備するもの。

トロッコ新駅舎

問

トロッコ王国美深の駅舎建設に活性化促進補助金が活用されるが、町産材の利用はどの程度使用するのか。建設は内部工事含めて町外の会社になるのか。

答

建設金額を抑えるため、資材キットを町外から購入するので、町産材の利用はない。内部工事は王国メンバーの技術者で経費を抑えた作業を目指すという。



手狭になったトロッコ王国の駅舎

第3回定例会は9月13日～17日まで開会され、14日～16日には付託事件審査・意見書の取り扱い4会計にわたる補正予算、条例制定1件、条例一部意見書5本を採択し閉会しました。

主な補正内容（一般会計分）

活性化促進補助金(トロッコ王国)	300万円
ぬくもり助成金(非課税世帯)	130万円
ワクチン接種対策負担金(厚生病院)	709万円
快適な住まいづくりと商工業振興事業補助金	580万円
アイランド修繕費	2,587万円
チョウザメ事業	1,238万円
山村留学推進協議会負担金	150万円
文化会館避雷対策工事	620万円
災害復旧費	3,800万円
コロナ対策(第7弾)	1,573万円

老朽化への対応

問

物産展示館の指定管理料や美深アイランド・びふか温泉の修繕の件数が多く計上されているが、施設整備に関して、修繕などの計画を持っているのか。総合的な老朽化が問題ではないか。

答

いつ壊れるか分からないため計画はもてないような状況で、なるべく長く使いたい考えもあり、壊れた時に対応することにしている。整備をしても、突発的な故障が続くこともある。定期的なメンテナンスなどについては、ど

ういう形でできるのか検討していきたい。

コロナ対策
第7弾
経営回復支援や
感染防止対策に
1573万円の追加補正

主な質疑

ワクチン接種記録

問

健康管理のシステム改修では、コロナウイルスワクチン接種記録をマイナンバーカードに登録する

質問者

岩崎・藤原
荒川・小口
和田

原案可決 全員賛成

今年の緊急事態宣言による影響の大きい飲食業や宿泊業等への経営回復支援給付金や、町内事業者への更なる感染防止対策に係る経費の補助、小中学校での感染予防対策強化支援などコロナ対策の追加補正。

答

令和4年6月からの運用のための改修で住民票移動の場合、移動先でも迅速に接種記録が確認できる。個人情報についてはマイナンバー制度上、国の管理である。

質問者

岩崎

原案可決 賛成多数

条例制定

美深町過疎地域の持続的発展のための固定資産税の課税免除に関する条例

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が、新たに施行され、これに伴い「美深町過疎地域持続的発展市町村計画」が策定されました。

この計画に基づき新たな条例が制定され、製菓業・情報サービス業等・農林水産物等販売業・旅館業者が建物や土地を購入した場合、一定の固定資産税を免除するものです。減収分は、地方交付税で補填される仕組みです。

原案可決 全員賛成

令和2年度決算審査

9月15・16日に決算審査特別委員会が開催され、第5次総合計画の第1章から第5章にそって審査が行われ、農業政策や観光行政の支援等について幅広く活発な議論が行われました。



和田 健 決算審査特別委員長

令和2年度	歳入決算額	63億2,352万4千円
	歳出決算額	60億1,216万4千円

総合計画 第1章

自然環境と調和する 安全・安心なまち「美深」

有害鳥獣の対策

問

アライグマの捕獲数が125頭と増えているが、被害状況と対策は。

答

南瓜の被害報告が多く、箱農を貸し出して捕獲した。市街地でも被害があり、5頭を捕獲している。

ゴミ分別の課題

問

ゴミ分別についての状況は。

答

特に紙ごみの分別の仕方が悪い状況。今後、広報などで分別方法をお知らせする。

公共交通の充実

問

仁宇布線デマンドバスの運行

ダイヤの工夫

ダイヤを工夫して日曜運行や夜の運行はできないか。

答

平成24年から今のダイヤとなっている。地域の方や名士バスとも協議したが、ダイヤを変更すると運転手の増員が必要となり厳しい。

問

フレンドバスの充実のため、ドアからドアへの実証実験が必要なのは。

答

新たな取り組みにはシステム化が必要でハードルが高い。また、タクシース会社との兼ね合いがあり研究が必要。

公園・緑地の整備

問

ふれあい公園内の施設に老朽

答

老朽化が進んでいるのは確認しており、計画的に修繕を考えている。

防災情報端末機

問

停電時対応のためのアプリについて、使用件数の実態は。

答

現在169人が使用しているが、登録者数が伸びていないので、広報などに載せ対応していく。

質問者

岩崎・小口
藤原・名取
田中



老朽化が著しいふれあい公園の噴水周辺

アプリをダウンロードすると防災情報端末機の配信情報をスマートフォンで確認することができます。

アプリのダウンロードはこちらから



総合計画
第2章

資源をいかす
活力に満ちたまち「美深」

各農業施策の効果

問

これまで実施している農業施策が農家の所得向上にどのように効果を発揮しているのか。

答

農家の所得状況だけでなく、労力の省力化や、作業

の効率化など総体的に判断すると、効果が出ていると考える。

家族経営協定の締結とパートナー対策

問

家族経営協定の締結の最近の状況と、独身経営者へのパートナー対策は。

答

家族経営協定については、近年は締結がない状況。農業委員会発行の広報誌でPRを図りたい。パートナー対策では、民間会社と開催していた婚活パーティーがコロナ禍により開催できず、オンライン開催など、新たな手法を検証していきたい。

観光振興にマネジメントが必要

問

町内の各観光施設や観光資源を全体的に捉え、プロデュースする役割を果たす機関が必要では。

答

観光協会が町内各種団体から選任された役員で構成されており、町職員も加わりながら課題を共有し、様々な組織との連携を主体的に進められると考えている。

「チョウザメの町びふか」をPR

問

チョウザメ事業は観光振興の側面もあり、町内の要所に、来町者の視覚に訴えるものが必要と思うが。

答

まずは飼育技術の安定した確立が先と考えており、今後はPRも進めたい。

質問者

藤原・岩崎
田中

総合計画
第3章

次代を創る人を
育てるまち「美深」

タブレット端末
学校での利用状況

問

小中学生全員へのタブレット整備が実現したが、使用状況は。

答

小学校では、週10〜20時間くらいの使用で主に「調べ学習」に、中学校では教育支援ソフトを使いながら、ほぼ毎日ミーティングのできる授業を実施し、家に持ち帰り家庭学習でも使える取組みも始めている。

増えている
スケートボードの利用

問

町民体育館前の噴水周りでスケボーを利用する子どもたちが増え、遊んでいる小さい子どもに危険な場面が多々見受けられる。何かの対策が必要では。

答

スケートボードで遊ぶ子どもたちとのトラブルがあっ



作業の効率化に期待 カボチャ収穫デモ機



児童館で元気に遊ぶ子どもたち

た話も聞いている。管理者から危険のないように注意や指導も行っており、見守っていき
たい。
スケボーパークという展開は急にはならないので、何かいい打開策を見つけて方法を議

論し、皆さんで楽しんでもらえる方向性を見つけてるのが今の認識。

充実させたい子どもたちの居場所

問

児童館の利用で土・日・祝日は前日までに連絡しなければ見てもらえない。緊急事態宣言中はやむを得ないが、解除された後は以前のように休日も予約なしに利用できるようにならないか。

答

通常、児童館も利用が出来るが、現在は児童クラブに登録している児童を対象とし利用を制限している状況。
土・日・祝日は保護者に利用票を渡し利用される人数を把握し、出来る限りの受け入れ体制を整え対応している。

問

放課後子ども教室の利用、従来は2階の二部屋を使っていたが視聴覚室での学習支援が今は行われていない。子どもたちの宿題の仕上げや自分で学習を進める上では大事な支援であり、人員配置の課題解決を早急に行うべきではないか。

答

現在のところ2人体制で行っているが、学習支援を考えると3人体制が旧来の形。現在、人の確保のため募集を行っている。

問

スキー場景観整備

スキー場の整備事業は完了となっているが、花壇の整備は進めているのが現状。その費用と進め方に大変危惧しているが、もう一度原点に立ち返り計画をしっかりと立ててやる必要がある

答

令和2年度の予算ベースで860万円くらいの費用。限られた予算の中で取り組みを進め、始めた当初から見ると緑色に変わり、花も定着してきている。何年かかる

のではないか。



成果を上げたいスキー場整備

質問者

田中・名取
藤原・岩崎
齊藤・小口

かは即答できないが、進めてきた事業なので花が咲き誇るような斜面づくりに努力していきたい。

用語解説

「フレイル」とは健康状態と介護状態の間の段階。具体的には、体重減少、握力低下、疲労感がある、歩くのが遅くなった、運動の習慣がない状態のこと。

総合計画 第4章

健康で明るく 暮らせるまち「美深」

フレイル予防体操

問 今年の冬もフレイル予防体操

動画を流す考えは。

答 運動の動機付けになった。こ

ロナ禍が続いているため、冬期間も流そうと考えている。防災情報端末機を使用できない方向けにパンフレットも作成する予定。

高齢者の地域参画

問 シルバー人材センターで、作業への人員配置に課題はないか。

答 代行は人手が足りない。買物宅配サービスの代行などは対応できていると認識している。

医療サービスの充実

問 医療機関のサービスの向上と訪問診療について対策は。

答 サービス向上は厚生病院と協議を進めている。市民の要望を聞き、必要であれば包括支援センターとも協力してサービスの向上に努めていく。

訪問診療は、医師3名の確保が必要だが現状難しいため、看護師による訪問看護を行ない、適時、医師との連

携を取っている。

健康維持のために

問 特定健診の過去の受診率は。また口腔健診の取り組みは。

答 受診率は、平成30年度は52%ほど、令和元年は49.9%となっている。口腔健診は4歳から10歳刻みで実施している。

問 特別養護老人ホームの改修について美深福祉会との協議はどのようになっているのか。また待機者対策は。

特別養護老人ホームの改修

答 コロナの影響により美深福祉会との協議は当初の予定より遅れているが、改修は計画通りに進め

ていきたい。待機者が多く、早急に利用したい方が町外の施設を利用する事はやむを得ないが今年度、認知症対応型のグループホームの設置により、緩和される可能性もある。

平成30年に開業医誘致条例を制定し、ホームページなどで誘致に取り組んでいる。過去2件ほど問い合わせがあったが、開業には至らなかった。厚生病院のサービス向上に努め、地域医療の充実を目指していく。

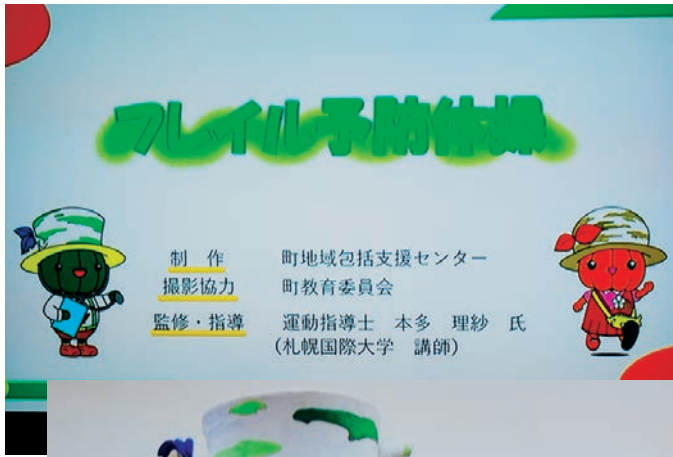
問 開業医誘致の進捗状況は。

答 平成30年に開業医誘致条例を制定し、ホームページなどで誘致に取り組んでいる。過去2件ほど問い合わせがあったが、開業には至らなかった。厚生病院のサービス向上に努め、地域医療の充実を目指していく。

質問者 名取・藤原 田中・小口 齊藤・岩崎

コロナの影響により美深福祉会との協議は当初の予定より遅れているが、改修は計画通りに進め

DVDで貸し出しも行っているフレイル体操動画



人事評価制度

問 人事評価制度の実施方法は。

答 今年度から取り組むもので、職員は年度初めに業績の目標を設定し、管理職が面談・指導して行く中で資質と能力の向上を目指すもの。

問 人事評価によって昇給、勤勉手当、昇格等はあるのか。

答 当町は、ごく少ない職員が掛け持ちで住民サービスをしている。力を合わせて業務を推進することが重要であり、そんな環境の中にいる。ただ単に振り分けるのではなく、人材育成に視点を置くもの。

職員研修の現状

れ広聴の機会が減った。今後は自治会長や役員会等とも連携して地域担当員を派遣し、広聴活動を進めたい。

問 町職員の研修事業は、実績が上からない状況だが、今後どうするのか。

答 昨年は予定していた研修が中止や延期、緊急事態宣言で、また中止。講師を呼んでの研修は、講師が来られなかった。仕方なくオンラインでの研修会を自分のパソコンで受講してもらう事となった。

町民への広聴活動

問 昨年はコロナ禍の中で、広聴活動が十分でなかったと理解している。地域担当員の活動の内容を底上げして広聴活動は出来ないものか。

答 懇談会や自治会集會も自粛さ

今年も研修の申し込みをしているが、中止や延期が多い。そんな中でオンライン研修が増えている。庁舎内にオンライン室を2室用意して、各種研修に利用している。

質問者

小口・藤原
岩崎

総括質疑



決算審査で使われている様々な資料類

問

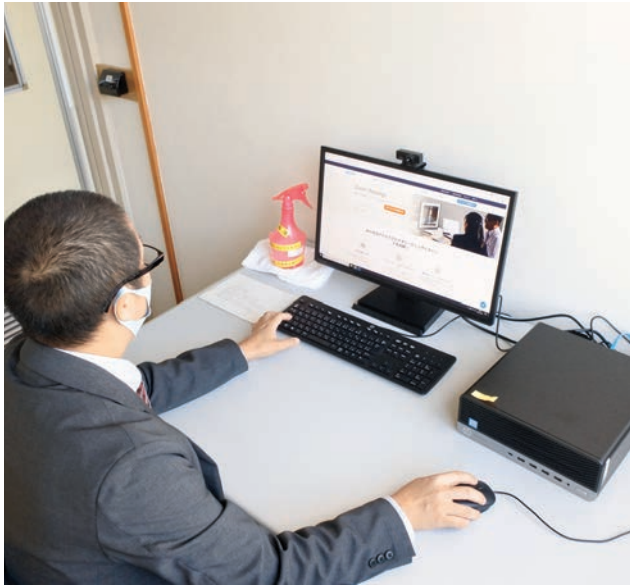
第5次総合計画下では最後の決算審査となるが、次年度の第6次総合計画での決算審査では、議論の中心になっている2次評価調書の書式や評価等の記載内容に改善していく点があるのではないか。

在の決算審査は「計画、実行、評価、そして次の計画に」と、次に繋がる議論になっている。2次評価調書だけでなく、他の資料も活用した総合的な評価で議論になることを期待したい。

質問者

藤原・岩崎

答 記載内容等は検討したい。現



役場オンライン室での研修の様子

採択した意見書



豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書

提出者 藤原 芳幸

賛成者 小口 英治 中野 勇治 荒川 賢一 名取 明美

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を 求める意見書

提出者 小口 英治

賛成者 藤原 芳幸 中野 勇治 荒川 賢一 名取 明美

特別支援学校の実効ある設置基準の策定及び特別支援学級の 学級編制標準の改善を求める意見書

提出者 和田 健

賛成者 岩崎 泰好 齊藤 和信 田中 真奈美

「大学生等への奨学金制度の改善・拡充」を求める意見書

提出者 岩崎 泰好

賛成者 和田 健 齊藤 和信 田中 真奈美

人道的見地から「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の 断念を求める意見書

提出者 岩崎 泰好

賛成者 和田 健 小口 英治

意見書は全員賛成で内閣総理大臣他関係大臣、衆参両議院議長へ届けました

3議員
町政を問う

一般質問

一般質問の各ページは、質問した議員自身が質疑を要約し原稿作成をしています。



名取 明美 議員

●異常気象における高齢者の避難対策と熱中症対策について



小口 英治 議員

●景観整備の取組をどうする



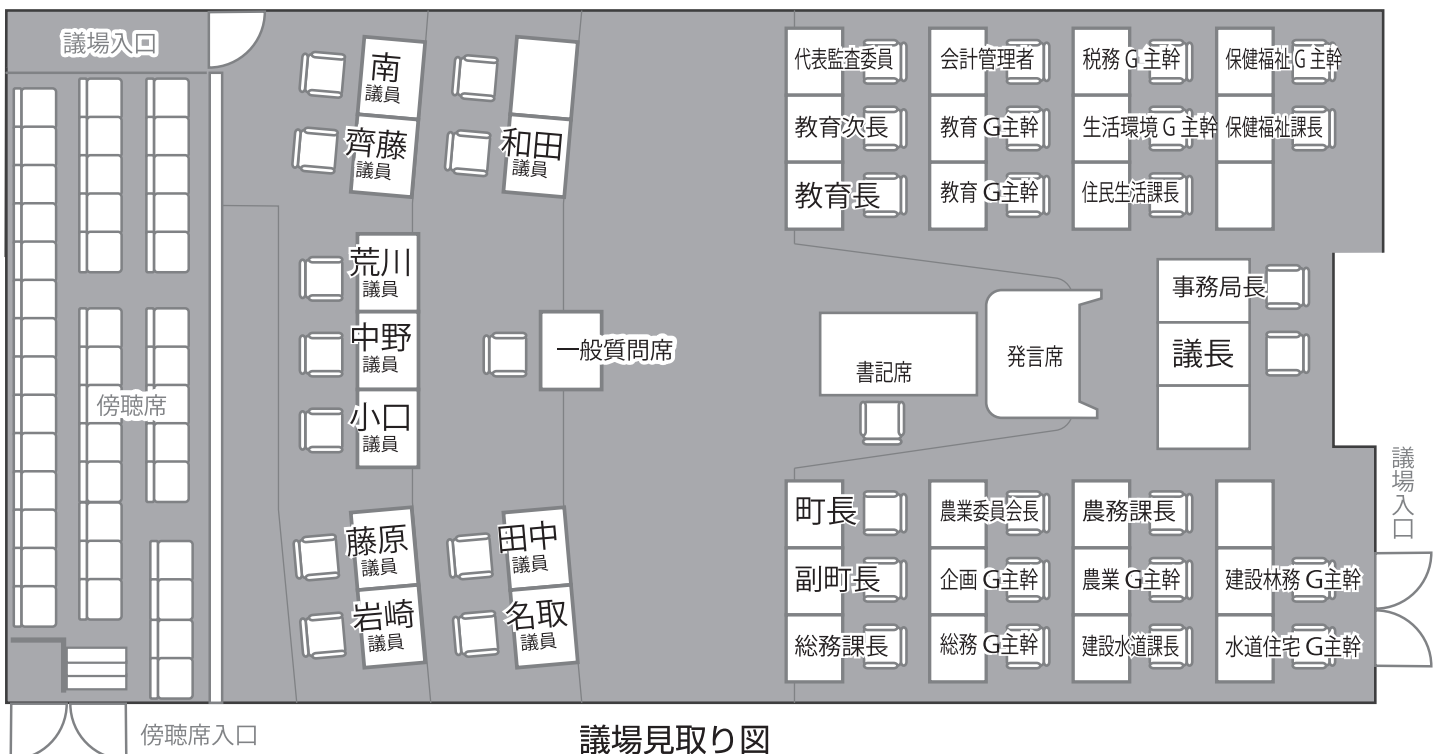
岩崎 泰好 議員

●介護や農業・建設分野で人材不足が深刻。将来を見据えた施策が必要と思うが対応は。

一般質問とは・・・

各議員が美深町の行政全般にわたり町行政当局の考え方や疑問点を質すことで、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果としては、現行の政策を変更・是正、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果があります。

全議員に質問する権利があり、所定の期日までに通告書を提出した議員だけが行うことができます。



●異常気象における高齢者の避難対策と熱中症対策について



名取 明美 議員

問

水害・熱中症から高齢者を守る手立ては

答

気温に応じた注意喚起と地域協力求める

質問

最近の異常気象により、経験のない降水が心配される。ハザードマップにおける避難所表示が高齢者に分かりにくい。避難所を明記したチラシの配布ができないか。さらに「熱中症警戒情報」が、今年初めて発信されたが、迅速に情報提供し熱中症予防の強化ができないか。

町長

避難所は、コミュニティセン

町長

高齢者に対する誘導・援助については、平成18年以降、地域住民により自主防災組織が編成されている。高齢者や身体が不自由な方については、避難行動要支援者名簿があり、自治会の方々と地域の民生委員など地域防災担当等の協議により避難の支援を行う。また避難行動時に、近くの人が一緒

質問

避難所については、何処に避難するのか迷ってしまうとの意見があるが。

避難所については、何処に避難するのか迷ってしまうとの意見があるが。



質問

「熱中症警戒情報」を迅速に、また回数を多く発信し、予防の強化ができないか。

町長

今の時点で設置する考えは無

質問

町中の避難所表示は、旅行者や遊びに来た人が災害にあった時に役立つと思うが。

質問

高齢者の命を守るという観点で、避難対策と熱中症対策について再度伺う。

町長

我が町でできる対策を地域の協力と共に進めることが、今後重要である。



●景観整備の取組をどうする



小口 英治 議員

問 国・道・町の道路管理が不十分

答 更に要望等を行い
快適な環境を目指す

質問 国道に関して
は10線・11線付
近と南地区は縁石が判
別しづらいほど管理不
十分、道の駅前通り
の街路樹も下枝が生い
茂り幹も見えない状況
町道にあっても、一例
だが9線通りの歩道上

町長 国・道に対し
ては次年度の事
業計画に対しての要望
のほか、住民からの要
望や道路パトロール時
に改善が必要な場合、
随時要望もしている。

質問 当町は過去か
ら美しい町の印
象があり、町民憲章に
は「美しく豊かな郷土
を目指す」とある。町の
都市計画にも「進化す
る美しい町」を基本理
念に据えているが、町
の景観も人口の減少と
共に変化し荒廃するこ
とが大変危惧される。
国道・道の管理に対
しどのような改善要望
等を行っているのか。

町長 景観に対し今
一度、質問の趣
旨に沿った対策に意を
配りたい。

でも、アスファルトか
ら雑草が生え大変荒廃
しているし、同じ9線
のむつみの苑前の植樹
柵、樹木の整備等早急
に取り組む課題ではな
いのか。



美深市街入口の管理状況

町長 平成23年の調
査時で町内の空
き家は151件。昨年

問 空き家をどうする

答 継続的に
登録を呼びかけ



質問時9月13日からスピード感をもった
整備が行われた駅前通り

質問 住民アンケ
ー卜では空き家、
空地対策が要望の上位
になっているが、現在
の状況と改善策は。

まで60件が解体、24件
が改修され、他35件が
即入居可能である。
「きたいっしょ」への
登録物件は1件だが、
定住に結び付くよう継
続した取り組みを実施
していく。



岩崎 泰好 議員

●介護や農業・建設分野で人材不足が深刻。将来を見据えた施策が必要だと思いが対応は。

問

介護人材確保
「包括連携協定」の締結を

答

締結できるものは
やっていきたい

質問

厚生労働省による2025年

の介護人材需給推計では、需給見込みはマイナス37万人という推計が出されている。美深町の介護職員の充足確保には、将来を見据えた取り組みが必要だと思いが、その方策として介護福祉士養成校との「介護人材確保に関する自治体間の包括連携協定」の締結を進めて安定的な人材確保を施策として実行しては

どうか。

栗山町立北海道介護福祉学校の関係者から「お互い良い方向で協定を締結することで、将来的な展望が開けるのではないか」という提案を頂いている。検討を加えるような形にならないか。

町長

介護人材の確保は、保健師等

人材確保条例で介護福祉士も対象として就学資金の貸付制度を実施してきたが利用実績はない。外国人の人材確保のため東川町で実施している外国人介護福祉人材育成支援協議会にも賛助会員で加入している。町の奨学金貸付制度を始め、北海道

問

農業政策に「半農半X」を取り入れては

答

新たな農業施策を勉強中
協議し前へ

質問

「半農半X」という新たなライフスタイルを施策に取り入れる自治体が、今、急増している。「農業アカデミー」開設を視野に入れた、就農支援推進事業を農業政策の

もう1つの柱として実現させてはどうか。

町長

「半農半X」という表現で農林

支援制度などの周知により取り組んでいるのが実態で、美深高校へのPRの他、栗山町の北海道介護福祉学校の学生募集の際に、美深町の就学資金貸付制度をPRしている状況もある。今後、他の養成学校においても同様の取組をしていく。連携協定の取組も模索していく必要がある、そう

いった協定や連携がとれるものはやっていきたいと思っている。少し具体的な話を聞かせて頂き対応したい。今後町内の介護事業所との協議の中で、人材確保に対する様々な取り組み事例や支援制度などの情報を共有し、事業者が必要とする支援策を検討して行かなければならない。

水産省も具体的に動き出していることや明治大学の小田切先生の提唱、町村会等を通じてわれているのも知っている。私自身も小田切先生の本も取り寄せながら、農業施策含めて勉強している最中でもある。豪雪地帯・寒冷地帯であり、冬の期間が長く土地条件等々が違うのだということも考える1つの要素。「半農半X」については前述の厳しさはあるが、何とかしなければならぬという認識に立っている。関係機関、団体等々とも協議をしながら前に進めていきたい。



「半農半X」の文字が新鮮
添田町の新規就農支援
PRチラシ



墓地・霊園の状況は

総務住民
常任委員会

調査日

令和3年8月10日

調査事項

町営霊園(墓地)の現状と課題について

調査内容

本町は現在、びふか墓苑と隣接した美深霊園のほか仁宇布、大手、玉川、泉、川西の5か所の墓地を管理している。

美深霊園は使用者も多く管理状況は良いものの、使用区画の約1割は訪れる人が少なく、使用者不明とならないよう連絡の取れる体制作りが必要である。

他の5か所の墓地は8月のお盆の時期に合わせ敷地内の草刈業務が行なわれ、墓参者が訪れているが、使用区画の半数以上が使用者不明となっており確認作業が始まった。

また、長い年月の経過から周辺の木々も大きく成長し、お墓周辺の景観も変化している。

区画を整理し景観を保つ工夫も必要であるとともに、お供え物が野生動物の餌やゴミとならないよう、持ち帰りの注意喚起をするべきである。

近隣には合同墓を設置した自治体もあり、本町

は今のところ設置する計画はないものの、近年はお墓に対する様々な考え方もあり、今後、霊園の在り方を探るうえでも町民の意向調査等を行い研究してみることも必要と思われる。

名称	現在 使用区画	うち 使用者不明
美深霊園	869	0
仁宇布墓地	2	0
川西墓地	7	3
玉川墓地	3	0
泉墓地	7	7
大手墓地	7	7

町内各墓地の使用状況

「函岳」と、聞くたび、思い出すことがある。保健センターが役場庁舎の西側にオープンして間もない平成7年初秋、始業時が過ぎても、まだ新人の保健師三人が出勤して来ない。すると、同僚らが昨日、函岳山頂から見ると「夜空の星は絶景」と聞いて三人で仕事が終わると行ったはず。



函岳のめ

● 車を夜を過すのは「熊」が怖かった。
● 加須美峠のゲートにあった「管理棟」まで歩いたが、ドアは施錠されていた。止む無く石で、窓ガラスを割って入り、中から開錠した。
● 畳み3枚ほどの板の間で、ホットしている、大きい「コウモリ」が、割った窓から飛び込み、頭に止まった。
● 「ギヤ」と、叫んで表に飛び出したが、コウモリも、驚いて出て行った。
● 真夜中に聞こえてくる「獣」の鳴き声が恐ろしくて眠れなかった。
● 朝になって、函岳に最初に登って来た車に助けられる。

中野 勇治 記



調査日

令和3年8月26日

調査事項①

「美深西長寿命化 防災減災事業」について

調査内容①

川西・玉川地域の簡易水道事業は、設置から30年以上経過しており、機能低下と故障が頻発している状態で修理に経費がかかっており、今回の長寿命化によって、故障回数の減少とリモート監視による管理強化が目的。

国の農業用水路等防災減災事業を活用し、総合計画を前倒して実施。

今回の事業では、管理の省力化による地域住民の負担軽減が図られるが、今後の管理者確保の問題や戸数減少による使用料金への影響などが懸念されるため、管理組合による業務委託も検討すべき。

調査事項②

美深町農業の「中山間地域等直接支払事業」と「多面的機能支払」の現状と課題について

調査内容②

「中山間地域直接支払事業」は吉野地区と恩根内放牧場の2地域で事業展開。

「多面的機能支払」事業の現状は、当初から10地区が農地維持支払と資源向上支払事業を実施してきたが、1地区で休止となった。要因には、事務量の煩雑さによる事務担い手の不足があり、地域おこし協力隊の活用などを検討している。

両事業とも、国の制度を活用した農村環境整備には欠かせない制度であり、特に、多面的機能支払事業では、これ以上各地区の活動が減少しないよう対策を講ずる必要から事務作業の担い手確保が早急な検討課題である。

農地維持と地域集落の維持が目的でありコミュニティ機能の強化、地域活動の促進も含めた制度運営を望む。

議会の動き・予定

10/28	10/27	10/27	10/22	10/18	10/5	10/4	9/17	9/17	9/17	9/17	9/16	9/16	9/15	9/15	9/14	9/14	9/13	9/8	9/7	9/6	9/2	
所管事務調査	総務住民常任委員会	全員協議会	議会広報特別委員会	産業教育常任委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	全員協議会	議会運営委員会	議案審議、定例会閉会	議会運営委員会	決算審査特別委員会	全員協議会	決算審査特別委員会	産業教育常任委員会	総務住民常任委員会	提案説明、一般質問	第3回定例会開会	農作物生育状況調査	議会広報特別委員会	議会運営委員会	全員協議会

表紙を飾る人
コロナになんか負けないぞ

小さな可愛らしい生徒さんが入った「現代舞踊ずらん会」、幼児から高校生までの大所帯の「ODSnow」。練習風景を見るだけでこちらにも笑顔を貰えます。コロナ禍において多くのイベントが無くなりましたが、いつかまた、なんの縛りもなく、多くのイベントで姿を見ることを祈っています。

私からのメッセージ

美深町民の
おふたりからメッセージを
いただきました。



心と身体に彩りを

塩田 かすみ

8年前、美深に戻ってきた私はどこにでもいる普通の主婦でした。タイミングよく、ストレッチーズという魔法の布を使ったフィットネスの資格を取る事ができ、立て続けにずっと自分でやってきたヨガ、小さいポールに乗るだけでくびれる「ひめトレ」、脳を活性化する「シナプソロジー」の資格を取り、今では週に1回、フィットネ

スサークルonline(オハナ)として活動し、またスポーツクラブ主催のレディスポヤ、保健推進員協議会主催の筋トレスンでも講師としてお伝えしています。よく「若い人がする運動でしょ?」と言われがちですが、そうではなく、一番お伝えしたいのは「心と身体を健康に」ということだけ。心が元氣じゃなければ身体も元氣に

なんかなれません。逆もまた然り。「心と身体は繋がっている」 「自分が死ぬ時まで自分の足で立っていたい」 そんな方々のお手伝いが出来ればと思っています。 20代〜80代までの方が参加してくれていますので、これを機にぜひご参加してみてください!

これからも美深で

渡部 徹

美深産小麦100%使用



二十代最後の年、妻の実家の食堂を継ぐため札幌から美深に来ました。サラリーマンだった自分が料理の世界へ飛び込み、少し遅い見習い生活が始まりました。修行も兼ねてびふか温泉での仕事がスタートし、違う環境での暮らしや業種でうまくいかない事が沢山ありました。そんな中でも当時の料理長、副料理長

と上司に恵まれて、素人の自分に料理人としての心得、技術を教えて頂き、今の自分があるのは温泉での調理場の経験のおかげだと感じております。五年間の修行を終えて食堂での仕事が始まりました。食堂ではお客さまとの距離が近く、沢山の方々との縁を感じて、改めて良い仕事だなと思います。また、来た時からすぐに商工会青

年部にも入部し、三年前から青年部長をやらせていただき、町のことを考える事が多くなりました。仕事以外での考える事が多くありますが、これからは青年部の仲間たちと地域の発展へと繋がる活動をしていきたいです。もうすぐ十年目。少しづつですが、美深に恩返しが出来ればと思います。